



会長 菅原文之
 幹事 佐々木源悦
 会報 佐々木崇光 佐藤静市
 高橋利光 渡辺光悦
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2343回例会 2012. 3. 15 No.34

本日の出席率

- ・本日の出席率 88.65%
- ・前回確定出席率 92.31%

ニコニコボックス

- ・遠藤光則副会長 本日のスピーチ、只野佳旦会員楽しみにしております。本日、午後6時より登米法人会で自衛隊の「ふれあいコンサート」があります。是非聞きに来て下さい。
- ・飯塚仁哉会員 訪台団の御一行様、南国の甘い香りを胸一杯吸い込んで来ましたか。只野佳旦会員のスピーチは自信に満ち溢れた語り口で安心して聞いていられますよ。
- ・山田直志会員 訪台団の皆様ご苦勞様です。只野佳旦会員のスピーチ期待しております。
- ・只野佳旦会員 本日のスピーチ担当です。よろしくお願ひ致します。
- ・佐々木源悦幹事以下 只野佳旦会員のスピーチに期待して。
 佐々木崇会員 阿部泰彦会員 佐藤敬喜会員
 氏家良典会員 伊藤俊郎会員 佐竹孝行会員
 阿部賢悟会員 佐藤静市会員 三浦孝次郎会員
 岩瀬正彦会員 武川毅会員 太田陽平会員
 以上、ありがとうございます。

会長要件 遠藤光則副会長

本日は菅原文之会長が、台北西門ロータリークラブ創立35周年記念式典出席のため訪台しており、又、多くの会員、事務局も訪台のため大変少ない中での例会となりました。会長に代わって会長要件を申し上げます。

3月も半ばになりましたが、相変わらず寒い日が続いております。早く春らしくならないかと心待ちしております。新聞を見ますと今日の日の出は5:45、日の

入りは17:46とほぼ昼と夜の時間が同じで、確実に春がきております。

さて、昨日も夕方と夜、2回少し大きな地震が起きました。昨年の今頃を思い出すと何ともいたたまれない気持ちになります。暗くて寒くて、食料もなく毎日がどうなるのかという日々を送っておりました。毎日毎日ガソリンを買い求めたり、電気、水道、通信が途絶え、少ない情報で会話をしたりと…。沿岸部は津波の被害で行方不明者の捜索やらで、かつてない経験をする事になりました。早いものであれから1年。まだまだ復旧復興は先が見えません。いまだに沿岸部の多くのロータリークラブは満足な例会が出来ないとのことです。

1年たった3月11日、テレビで追悼の番組を見ていましたが、宮城県の被災者代表奥田さんの言葉に何とも涙の出る思いでした。被災された皆さんには一日も早い復興をお祈り申し上げます。

又、今まで当クラブは南三陸を中心に全国から大きな支援を頂きました。今年もまだまだ各地より支援があるのではないかと思います。これからも菅原文之会長、阿部賢悟復興特別委員長を中心に支援活動を続けて参りたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・ガバナー事務所より 復興ポスター及び「ダメ・ゼッタイ」ニュースレターが届く。
- ・ガバナーエレクト事務所より 会長エレクト研修セミナーの資料が届く。
- ・登米市環境課より 登米市クリーンアップ湖沼群の開催案内
 日時 3月20日(火) 8:30~
 場所 伊豆沼、長沼、平筒沼

- ・NPO法人伊豆沼・長沼水環境ネットワークより 農村自然再生と地域づくり研修会及び推進会議
 日時 3月25日(日) 13:30~16:00
- ・ロータリーの友事務所より 雑誌委員長への「友」誌の送付について

各委員会報告

- ・米山記念奨学会委員会 (佐々木源悦幹事)
 米山奨学生朴殷緒さんのお別れ会
 日時 3月23日(金) 18:00~
 場所 麺や文左
 会費 2,000円
- ・環境保全委員会 (佐藤静市委員長)
 3月20日(火)のクリーンアップについて。
 今回の佐沼RC清掃場所は、長沼フートピア公園です。午前8時30分より始めます。ご協力をお願い致します。尚、軍手は準備します。
- ・復興特別委員会 (阿部賢悟委員長)
 南三陸支援参加協力のお願ひ。(3月25日(日))
 1. 桐生ロータリークラブ支援 10:00~
 南三陸町歌津吉野沢仮設住宅集会所落成式
 2. 余目RC、立川RC (山形県) 13:00~
 南三陸町戸倉復興支援団へ、表札作成システムの寄贈式
 ※交流会も持ちますので多くの参加をお願いします。尚、例会終了後、委員会を開催します。

今週のスピーチ

只野佳旦会員

3月11日から4日目ということで、そのことに触れない訳にはいかないということ、私も建設業界ですので、その辺を少し紹介させていただきながら話を進めて参りたいと思います。

地震が発生して、それを境目に我々建設業界は、40%位、会社、作業員、技術者が減少した傾向にあり、あの震災がなければ今頃は相当の数の我々の仲間が淘汰されていくという時に大震災が起きて、非常に人手不足で、早急復旧に苦勞したという思いがあります。当初、個人的には志津川に会社の現場事務所があり、入谷の避難所に物資を届けたり袖浜で炊き出しをしたり、JA南三陸の米を精米したりと出来ることはやりました。業界としては栗原、大崎、登米と支部単位に応援要請がありました。我々登米支部には爪付きのバックホーで道路の景開作業を頼まれ3月26日頃から作業を開始しましたが、実はそうでなく自衛隊とパーティーを組んで人の捜索だった訳です。その作業は微妙な手かげんで機械の操作で瓦礫をよけながら人を捜すという作業でしたが、自衛隊では無理な面もあり、我々建設業界の作業が非常に高く評価されました。いつも建設業界はたたかれっぱなしでしたが、この時は評価を受けました。作業の期限を聞きましたら、大体49日が目安だということでしたので、4月のこの辺ではないかと計算をしましたが、やはり、土・日に限らず捜索を頼まれる家族の方は毎日、私達担当場所は石巻の南浜町で被害が広範囲に及んだところでしたので、49日が100ヶ日になり、自衛隊もそろそ

ろ終了ということになり、今度は警察隊に引き継いで更に捜索を続け、7月頃までやらさせていただきました。一部瓦礫ということもありましたが、1年過ぎた今改めて思いますのは、我々業界は評価を受けないところでボランティアしたり、寝ずの番で大川小学校付近の水を排き出したり、様々な作業をやらさせていただきました。

瓦礫も集積がずい分進みこれからは皆様もご存知の様に処理ということになってきた段階です。ようやく3月11日に、野田総理大臣が自治体に金をやるから何とか引き受けてくれという話をしました。私たちに言わせれば、もっと早くあの様な号令を掛ければ、もう少し処理が進んだのではないかと考えております。いずれにしても2年ではなくと言うことです。そういった中で、これから復興計画を立て、それに基づいて整備をし復興が進んで行くのですが、機材がとても少なく、政府や各自治体が絵に書いた様なスケジュールでは、この復興は進まないのではないかと感じを持っております。避難された方の生活環境を少しでも改善して充実させてあげなければならないのではと思っております。仮設住宅に移っても、今年は寒く、まだまだ不便ですので自治体もそういった方向に目を向ければ良いのではないかと感じております。皆様もマスクミ等々で復興の進捗状態が分かってくるのではないかと考えています。



スピーカー、只野佳旦会員

・復興道路の概要 (以下、資料を参考にして下さい。)
 縦軸と横軸があり、トータル計画延長が584kmとなっており、実際に供用されているのが160kmです。地震が起きる前の事業中は155kmでしたが、今度新たに復興道路という名のもとに224kmが計画路線に入りました。我々業界としては非常に歓迎するところです。

宮城県内の復興道路の概要

今、登米インターまで暫定で進んで来ておりますが、仙台から桃生豊里インターまでは完全化することで復興道路の中に盛り込まれ10年でやることになりました。

歌津インターまではルートが決っており、次に南三陸町の歌津中野周辺に一つ、本吉町卯名沢周辺に一つ出来る予定です。これも10年ですることになっております。

我々は、三陸道と言うと南から北までひっくるめて考えますが、役所は大体7~10km単位で路線を切っており、今盛んにやっているのは、国道4号線、三陸沿岸道路(登米志津川道路)です。登米インターから登米東和インターまでは既に開通しております。トンネルを含めて志津川インターまでの11kmは2016年度以降に供用する予定です。同時進行で三陸沿岸道路(南三陸道路)が進んで参ります。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。